

Globe News No.5

令和2年9月1日
研究開発学校研究推進委員会
東川町教育委員会(82-2111)

Globe(グローブ)とは、幼児センター、各小学校、中学校、高等学校で取り組んでいる新教科です。

国際教育を中核とした新教科『Globe』は、「自国の文化や伝統への理解を深めるとともに、異なる習慣や文化を持った人々と共に生きていくことができる子どもを育てたい」という願いのもと、教育課程の研究開発事業として、文部科学省からの委託を受けて取り組んでいます。各学校、幼児センターでの活動の様子をお知らせします。



幼児センター 5歳児

今年度はまだ2回しか経験できていませんが、初回からあいさつや気持ち、天気等の簡単な英単語に触れ、楽しんで復唱する姿がみられます。また、英単語に触れながらゲームを行うことで、より英語への興味関心が深まっているところです。あいさつや色の英語を教えてもらおうと、自分から「Hello!」「See You!」とあいさつしたり、教わった色を見つけて「Purpleだね!」「これはYellow!」等と言ったりする姿もみられています。



東川小学校

「東川の行事を紹介しよう!世界の行事を知ろう!」5年生

ペアで東川の行事を説明するポスターを英語で書き、8人のCIRに紹介しました。分担して調べる中で、知らなかった東川の行事を知ることができ、改めて東川の魅力に気付きました。CIRからは、祖国の行事を紹介してもらいました。世界には、たくさんのおもしろい行事があることを知り、どこの国でも生活を楽しんでいることがわかりました。



第一小学校 「あいさつをしよう」1・2年生

1・2年生が英語であいさつや自己紹介をする学習をしました。英語の歌を体を動かしながら歌ったり、ALTと一緒にゲームをしたりして、楽しく学習をしました。英語が初めての1年生も2年生のお手本を見たり聞いたりして、「Hello. I'm ONice to meet you!」と言えるようになりました。



「世界の数の数え方を知ろう」3・4年生

3・4年生が世界の数の数え方について学習をしました。ALTから英語での数え方を教わり、1~20まで言えるようになりました。単元の終わりには、世界の数の数え方をCIRから教わりました。ロシア・ベトナム・ミャンマーでの数の言い方や、指の折り方を教わり、真似して言いました。数え方だけでなく、それぞれの国のじゃんけんの仕方教わり、ゲームをしながら楽しく交流しました。



第二小学校 「How are you? ごきげんいかが?」3年生

二人のゲストを招いてそれぞれの国のあいさつを体験しました。あいさつする相手によって合わせる手の位置を変える、胸に手をあてるなど、世界には様々なあいさつがあることを知るとともに、ジェスチャーで色々な気持ちを表せることに気付きました。



「This is me. これがわたし」6年生

全校で写真活動に取り組んでいる二小。CIRさんは出身国のお気に入りの場所を、子どもたちは東川のお気に入りの場所を写真で紹介し合いました。ウズベキスタンの市場やプーケットの海的美しさに子どもたちは感動し、それぞれの素敵な場所がわかり、外国との違いをたくさん発見することができました。



第三小学校 ★英語を使いCIRの先生方と交流する学習★
「えいごであいさつ・ともだちになろう」1年生

英語で自己紹介ができるようになった1年生は、ALTのドナ先生にお手本を書いてもらったアルファベットの名刺を準備して授業へ参加です。CIR3名の方に自己紹介して名刺を交換し、それぞれの国のじゃんけんの仕方やその国の遊びを教えてくださいました。



「What's this? ～これは何?～」2年生

CIRの先生方が用意してくれたそれぞれの国の楽器や写真。子ども達がそれぞれ「What's this?」と聞いて教えてもらう授業を行いました。中国、カナダ、インドネシアの珍しいものを前に、「What's this?」を何度も言う子ども達。授業後には「その国のことが知れてよかった」という感想が多くありました。



東川中学校

美味しいチョコレートの真実
 ～ガーナと私たちの繋がり～



★フェアトレードの背景にある問題を知り、自分たちにできることを考える☆

中学校3年生は、世界の諸問題を知り、自分たちにできることを考える授業を展開する予定です。フェアトレードの授業では、チョコレートの原料となるカカオ農家のワークショップを通じてガーナの貧困や児童労働について学習しました。ALTのナタリー先生が入った授業では、生活必需品の購入を英語で行う活動を交えて、カカオの価格変動による影響を知り、自分たちにできることを考えました。

※【フェアトレード (Fair Trade: 公平貿易)】・・・発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みのこと。

★世界の観光名所を知ろう☆

中学校2年生は、「世界の観光名所を知ろう」という題材で、世界の観光名所について調べ、その場所への旅行計画を英文でまとめる学習を行いました。また、中学校担当のALTナタリー先生とのお別れセレモニーを行いました。ナタリー先生は、中学校での3年間の勤務を終えて、母国オーストラリアに戻ることになりました。これまでお世話になったことへの感謝の気持ちを持ちながら、ゲームを通じて楽しい時間を過ごしました。



★日本の音楽(楽器)やスポーツを紹介しよう☆

中学校1年生は、「日本の音楽(楽器)やスポーツを紹介しよう」という題材で、日本の伝統楽器や武道について調べ、簡単な英語で紹介するレポートを作成しました。そして、現在行われているスポーツと武道とのちがいや西洋の楽器と和楽器とのちがいについて考えました。生徒たちは、自分たちの国の代表的な楽器や武道について学習し、初めてその存在を知るものもあって、改めて日本の文化をより深く学ぶ機会となりました。



東川高校 高校での取り組み

高校3年生では、アメリカで起こった黒人の人種差別により死亡事件を基に、世界ではどのような人種差別があるのかを考えさせました。まず、世界には今どのような差別があるのかグループごとに調べ学習をし、次に差別をなくすためにどうしたらよいか自分たちの意見を述べ合いました。自分が差別される側になったらどのような気持ちになるのかについても考えてもらい、できるだけ差別に関わる社会問題を自分事にしてもらうようにしました。最終学年として社会に出て行く日のことを考え、一人ひとりがどのようによりよい形で社会人の一員になっていくか、深く考えてもらう授業となりました。



『Globe夏季研修会』

8月6日(木)東川小学校で、町内の幼、小、中、高の教師が集まり10月16日に行われる一斉研修日に向けた指導案の検討をしました。この研修会は「一斉研修日にかかわる研究授業指導案検討を通して、学校種間とのつながりや研究開発の共通理解を図り、本町における国際教育への意識を高める。」を目的に開催されました。



